

日本女性医学学会学術集会の今後のあり方についてのアンケートのお願い

日本女性医学学会は、1986年に産婦人科更年期研究会として発足後、1992年に日本更年期学会と改名し成長を遂げてきました。2012年には、日本女性医学学会と改名後、当学会の守備範囲も増え会員数はH28.9.8現在2,830名と急増しております。

また、当学会の「女性ヘルスケア専門医」が周産期・腫瘍・生殖内分泌につづく4つ目の subspecialty 領域であることが、平成26年11月14日付で承認されており、今後さらに本学会の役割・重要性が高まるものと予想されます。

本学会会員数の増加とともに学術集会の参加人数も昨年では過去最高の1,179人と1,000人の大台を超え、今までの2日間での開催では手狭になってきております。今後の学会の発展をふまえ、会員の皆様にこれからの学術集会のあり方についてのご意見を賜りたいと存じます。

アンケートの期間は9月12日～9月30日の間で、会員の方に送信したメールのURLよりご入力頂きたいと存じます。学会の発展のために皆様何卒ご協力をよろしくお願いいたします。

一般社団法人日本女性医学学会
理事長 水沼英樹
将来検討委員会 若槻明彦